

調査票「議会報等発行の概要」

船橋市議会

項目	内容	
① 名称	ふなばし市議会だより	
② 創刊	1964年(昭和39年)3月10日	
③ 発行形態	議会報単独発行	
④ 発行回数	原則年4回(定例会ごと。改選時等に臨時会号を発行)	
⑤ 発行部数	309,000部(1号あたり)	
⑥ ホームページ掲載	PDF形式で掲載	
⑦ 規格	(1)版型 A4判中綴じ穴あけ(2穴) (2)ページ 16ページ (3)文字サイズ 原則13.5Q (4)組型 縦書4段組(1段:18字×32行) (5)色 全面4色カラー (6)紙質 コート紙 4/6判 68kg (7)印刷方法 オフセット印刷	
⑧ 配布方法	・市内全世帯にポスティングによる配布(障害福祉施設や高齢者団体を優先して委託し、それ以外のエリアを一般事業者へ委託) ・市内公共施設、主要鉄道駅24駅、市内一部コンビニエンスストア、市内公衆浴場に配架。	
⑨ 発行経費	印刷製本費@14.05円 ポスティング費@12.4円(障害福祉施設)、@10.00円(高齢者団体)、@13.4円(一般事業者)	
⑩ 編集過程での議員の関与	通常、定例会開会日に開催する広報委員会でページ割を決定し、その後、閉会日に開催される委員会で1面に掲載するタイトルと写真またはイラストを決定する。 議案質疑および一般質問の原稿は、原則議員が原稿を執筆し、事務局にて実際の発言内容等の照合をし、調整した原稿を掲載している。	
⑪ 一般質問記事の質問者名掲載	質問ごとに会派名と質問議員名(フルネーム)および顔写真を掲載。	



<p>⑫ 議 会 広 報 の 特 色 と 課 題</p>	<p>【ふなばし市議会だよりの特色】</p> <p>①1面に掲載する写真やイラストを市民公募しており、市内の四季折々の風景や行事の様子など、船橋の魅力が伝わるような写真やイラストを掲載している。(イラストの公募は令和4年6月～)</p> <p>②すべての人に見やすい紙面を目指し、紙面のフォントを従来の明朝体からユニバーサルデザインフォントのゴシック体に変更している。(平成29年4月～)</p> <p>③読者に定例会の流れがわかりやすいよう、目次も兼ねた今定例会の主な流れを表紙に掲載。</p> <p>④「議案の概要」ページでは、全議案を羅列するのではなく、主要な議案をピックアップし、その議案の内容をわかりやすい表現で掲載している。その他、市民になじみのない行政用語については適宜、用語解説をつけている。</p> <p>⑤「各委員会の報告」ページでは、議案の概要を簡潔に掲載し、賛成・反対討論および採決結果などを視覚的にわかりやすく掲載している。</p> <p>⑥「議決結果」ページでは、会派内で賛否がわかれたものがわかるよう「所属会派の○×と異なる議員」の欄を掲載している。</p> <p>⑦「一般質問」ページには、質問をした全議員を掲載している。</p> <p>⑧「一般質問」ページでは、各議員の原稿を「企画・財政」「防災」など8つのジャンルに分け、市民が興味のあるジャンルに関する質問をまとめて読めるよう工夫して掲載している。</p> <p>⑨「一般質問」ページでは質問内容をよりわかりやすくするため、各会派1名ずつ質問内容に関連した写真等を掲載している。</p> <p>⑩「お知らせ」ページでは市議会の活動をより身近に感じてもらえるように、イベントの実施報告や市議会公式SNSアカウントの周知情報を掲載している。</p> <p>⑪PDF版ふなばし市議会だよりを市議会ウェブサイトのほか、スマートフォンアプリ「マチイロ」にも掲載。令和3年11月から、電子書籍サービス「ちいき本棚」に新たに掲載を開始。</p> <p>⑫目の不自由な方等のために、音声版市議会だより「声の市議会だより」及び「点字版市議会だより」を発行。「声の市議会だより」については、ボランティア団体の協力により、音声の吹き込みを行っている。</p> <p>⑬声の市議会だよりは、平成28年11月から従来のカセットテープ版と併せ、CD版の発行を開始。令和元年度から、市議会ウェブサイトにも最新号、前月号及び改選号を掲載している。</p>
------------------------------	---

市 名	審査員コメント
船橋市	<p>表紙の主な可決議案が3行にわたって続いており、メリハリがほしいです。例えば「児童生徒のいる世帯へ給付金」を1行にして文字サイズを大きくし、強調する部分は強調して目に止まるようにしてみてもいかがでしょうか。一般質問の顔写真は、今回のようなサイズではかえって顔が分かりにくくなってしまいます。別ページに議員の顔写真入りの名鑑を設けることを検討してみてもは。</p>